

**春播きトウモロコシ「TH680」、「ゴールドデント D731」 および「P2023」の品種特性**

「TH680」、「ゴールドデント D731」 および「P2023」は多収性および耐病性に優れ、熊本県における春播きトウモロコシ品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室（担当者：中村寿男）

**研究のねらい**

熊本県における早生品種春播きトウモロコシについて、特定品種への偏りを防ぐとともに、新しい優良品種の普及を図るため、数年以内に市販が開始される品種について品種比較試験を行った。早生春播きトウモロコシの代表的な優良品種である「セシリア」「ゆめそだち」を比較品種とし、これと同等以上の能力を有する品種を選定した。

**研究の成果**

- 1 「TH680」、「ゴールドデント D731」 および「P2023」の播種から収穫調査期までの日数は、比較品種と同程度で、本県で4月初旬に播種した場合、7月下旬から8月初旬に収穫できる（表1）。
- 2 「TH680」、「ゴールドデント D731」 および「P2023」の耐倒伏性は、比較品種と同程度であった（表2）。
- 3 「TH680」、「ゴールドデント D731」 および「P2023」のごま葉枯病、紋枯病の耐病性は、比較品種と同程度であった（表2）。
- 4 「TH680」、「ゴールドデント D731」 および「P2023」の乾物収量は、比較品種と同程度であった（図1）。
- 5 以上のことから、「TH680」、「ゴールドデント D731」 および「P2023」は本県における春播きトウモロコシ品種として有望である。

比較品種：相対熟度が115未満の品種は「セシリア（熊本県奨励品種）」と、115以上の品種は「ゆめそだち（熊本県奨励品種）」と比較した。

**普及上の留意点**

- 1 耐病性は比較品種と同程度であるが、紋枯病が頻発するほ場では、連作を避ける。

表1 生育特性に関する調査結果

品種名	相対熟度	播種から収量期までの日数	初期生育	稈長	着雌穂高	着雌穂高／稈長
		日	極不良1～極良9	cm	cm	%
TH680	105	114.9	6.6	245.0	127.0	51.9
セシリア	115	117.3	6.0	243.5	133.4	55.1
ゴールドデントD731	123	121.3	6.1	257.6	143.0	55.5 a
P2023	125	119.7	6.4	249.4	116.2	46.5 c
ゆめそだち	125	119.7	6.8	251.7	128.3	51.1 b
標準誤差		0.8	0.3	4.9	3.2	0.9

- 1) 播種期は、2010年4月5日、2011年4月7日および2012年4月5日。
- 2) 数値は調査年(2010年、2011年、2012年)の平均
- 3) 施肥量は、N:1.5kg/a、P2O5:1.5kg/a、K2O:1.5kg/a。
- 4) 標準品種は、相対熟度が115以下は「セシリア」、115以上は「ゆめそだち」。
- 5) アルファベット間は、品種間において5%水準の有意差が認められたことを示す。
- 6) 収量調査は、黄熟期を目安に実施した。

表2 病害抵抗性に関する調査結果

品種名	倒伏	折損	虫害	ごま葉枯病	紋枯病罹病率
	%	%	%	無1～甚9	%
TH680	0.4	0.0	0.8	4.3	33.4
セシリア	0.4	0.9	0.8	5.8	33.9
ゴールドデントD731	1.2	0.1	0.3	1.4	34.9
P2023	0.8	0.6	1.0	2.1	43.0
ゆめそだち	0.0	1.4	1.0	2.4	34.8
標準誤差	0.2	0.3	0.2	0.4	10.0

- 1) 数値は調査年(2010年、2011年、2012年)の平均
- 2) いずれも「セシリア」との間に有意差は認められない。

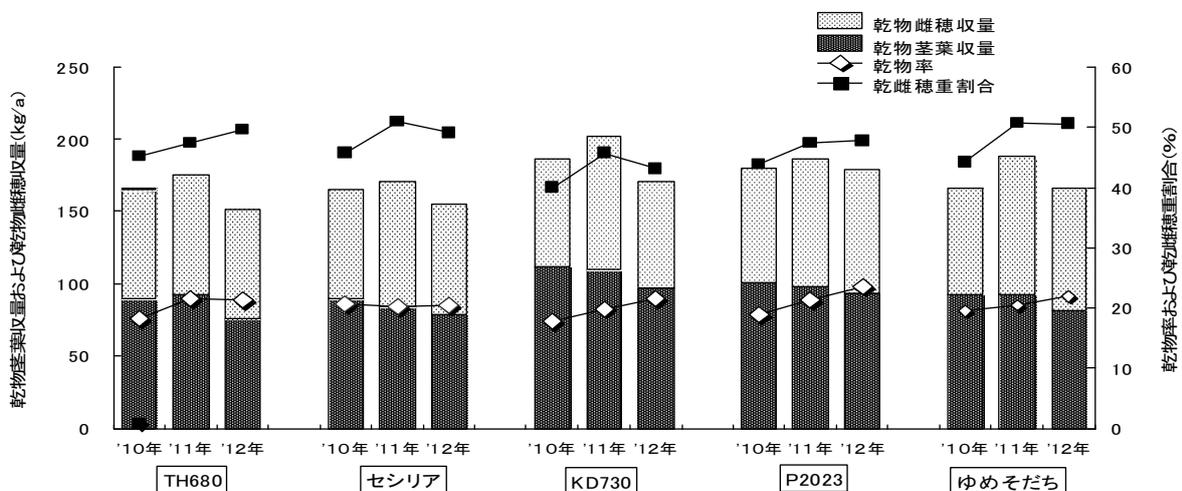


図1 品種ごとの3か年の乾物茎葉収量・乾物雌穂収量・乾物率及び乾物雌穂割合